

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）		熊本市中央区黒髪2丁目39番1号								
氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）		国立大学法人 熊本大学 学長 小川久雄								
事業概要		教育・学習支援事業，学校教育								
該当する事業者要件		<input checked="" type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第1号該当特定事業者（大規模エネルギー使用事業者）								
		<input type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第2号該当特定事業者（自動車運送事業者）								
		<input type="checkbox"/> 特定事業者以外の事業者								
計画期間		2019年度～2023年度								
事業活動温暖化対策計画書に定めた措置の実施状況		省エネルギー及び節電対策として、施設の改修・インフラ設備の更新、学生及び教職員等の取り組みによる省エネルギー推進等を実施し、エネルギー使用量の適正化に努め、温室効果ガス算定排出量の削減を行った。								
温室効果ガス算定排出量の削減等の状況等	年度区分	基準年度	前年度	計画期間				目標年度		
		(2017)年度	(2018)年度	(2019)年度	(2020)年度	(2021)年度	(2022)年度	( )年度	(2023)年度	
	① 排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	36,625	31,206	24,374	25,315	27,065	22,775		34,812	
	増減率 (基準年度比)			△ 33.4 %	△ 30.9 %	△ 26.1 %	△ 37.8 %	%	△ 5.0 %	
	温室効果ガス算定排出量の削減等の状況等	補完的段階による削減	森林の整備及び保全 (t-CO <sub>2</sub> )		0.0	0.0	0.0	0.0		
			再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給 (t-CO <sub>2</sub> )		0.0	0.0	0.0	0.0		
			グリーン電力証書又はグリーン熱証書の購入 (t-CO <sub>2</sub> )		0.0	0.0	0.0	0.0		
			その他、知事が認めるもの (t-CO <sub>2</sub> )		0.0	0.0	0.0	0.0		
			② 合計 (t-CO <sub>2</sub> )		0.0	0.0	0.0	0.0		
		① - ②			24,374	25,315	27,065	22,775		
		差引後排出量 (t-CO <sub>2</sub> )			24,374	25,315	27,065	22,775		
		差引後増減率 (基準年度比)			△ 33.4 %	△ 30.9 %	△ 26.1 %	△ 37.8 %	%	
	原単位算定排出量等	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	0.0894	0.075	0.061	0.064	0.068	0.057		0.0849
		増減率 (基準年度比)			△ 31.8 %	△ 28.4 %	△ 23.9 %	△ 36.2 %	%	△ 5.0 %
		差引後排出量 (t-CO <sub>2</sub> )			0.061	0.064	0.068	0.057		
差引後増減率 (基準年度比)				△ 31.8 %	△ 28.4 %	△ 23.9 %	△ 36.2 %	%		
	原単位の考え方	温室効果ガス算定排出量/延床面積 (t-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> ) 延床面積 2019年度:398,213m <sup>2</sup> 、2020年度:398,393m <sup>2</sup> 、2021年度:398,312m <sup>2</sup> 、2022年度:398,312m <sup>2</sup>								
計画の進捗又は達成の状況等		全学委員会である施設・環境委員会のもとに、省エネルギー推進・環境ワーキンググループを置き、省エネルギー及び電気の需要の平準化対策を専門的に検討し、全学を挙げて継続的に対策を実施している。また、実効的な対策の推進を目指してキャンパス毎に省エネルギー委員会を設置し、キャンパス毎のエネルギー消費の特性に応じた適切な省エネルギー活動や、電気の需要の平準化対策を行い、更なる省エネルギー化・電気の需要の平準化を加速させている。エネルギー使用量の大部分を占める黒髪・本荘・大江キャンパスにおいては、電気・ガス使用量を自動計測し全職員のパソコンでリアルタイムに閲覧できるシステムを整備しており、省エネ活動をサポートするシステムとして更なる省エネルギー化を推進している。これらの継続的な取組により、エネルギー使用量を低減しCO <sub>2</sub> 排出量の削減に努めている。2021年度と比較して4,295t-CO <sub>2</sub> 減少しているが、これは、電力使用に係るCO <sub>2</sub> 換算係数が0.069減少したこと及びエネルギー使用量の減少が原因と考えている。								
特記事項		熊本大学における温室効果ガス算定排出量等の『基準年度』は定めておらず、国立大学法人熊本大学省エネルギー中長期計画で定めた基準値(2014年度～2018年度排出量の平均値):36,625t-CO <sub>2</sub> を基準排出量と定めている。								

備考 1 □のある欄には、該当する□内に「レ印」を記入してください。

2 「計画期間」並びに「基準年度」「前年度」「目標年度」及びそれらの排出量は、提出済の事業活動温暖化対策計画書に一致させてください。

3 「計画の進捗又は達成の状況等」欄には、計画期間における排出量削減の進捗の状況及び計画終了時における事業活動温暖化対策計画書に掲げた温室効果ガスの排出の抑制の量に係る目標の達成又は未達成の理由等があれば、記入してください。

4 「特記事項」欄には、過去の温室効果ガス排出削減に係る実績や地球温暖化防止に寄与する技術又は商品の開発等の取組があれば、記入してください。